

新規電源開発地点発掘プロジェクト ー水力発電所の建設に関するご案内ー

平成30年8月
長野県企業局

長野県企業局では、再生可能エネルギーの固定価格買取制度を活用した新たな水力発電所の建設について、積極的に取り組んでおります。

水力発電所は、再生可能エネルギーの普及拡大に貢献するだけでなく、建設時には地域の土木工事などの仕事を創出するとともに、建設後は、固定資産税相当の所在市町村交付金など、市町村の収入増にもつながります。また、水力発電所の見学や発電体験など地域の学習の場としてもご利用いただけます。

採算性のある水力発電所を建設するためには、諸条件が整う見込みを持つ必要がございますが、水力発電所の建設地点と思しき地点があり、建設をご希望されます場合には、企業局が中心となり、採算性の有無も含め、建設の検討を行いたいと考えておりますので、平成30年9月28日（金）までにお気軽に、ご連絡・ご相談いただければと存じます。

<水力発電所建設の目安>

1 一定の水量と落差を有している

- ・最大電力 100kW 以上が目安（※固定価格買取制度が活用可能な場合）
※最大出力＝水量（m³/s）×落差（m）×重力加速度（9.8）×効率（0.6）

2 水利権取得の目途が得られる

- ・上下水道施設内、湧水の排水 等 ⇒ 水利権不要
- ・農業用水路、ダムの河川維持放流設備 ⇒ 水利権取得が容易
- ・上記以外の地点 ⇒ 水利権取得に最低1年間の水の流量データが必要

3 地元関係者の理解を得られる見込みがある

- ・漁業団体との合意（河川内施設等の場合）
- ・農業団体との合意（農業用水路、河川内施設等の場合）
- ・地域住民の皆様のご理解
- ・自然公園法等の法規制に伴う各種申請が円滑に進む見通しがあること

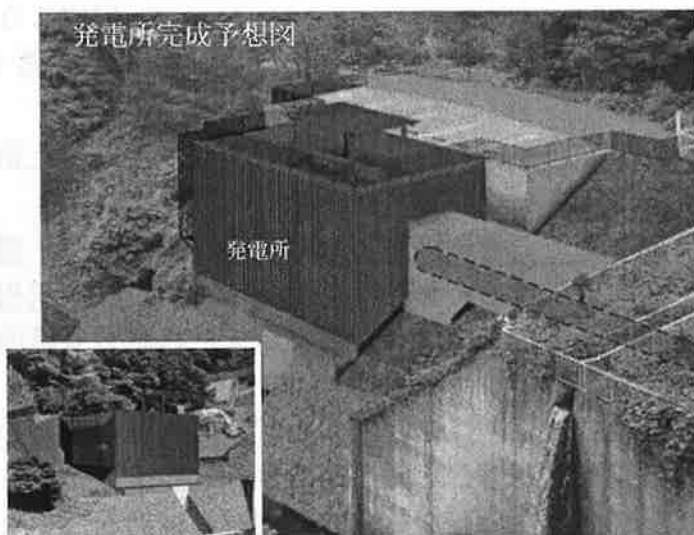
（参考1）水力発電所建設に向けた流れ

- ・地元関係者を集めた調整会議を設立
- ・建設に関する地元関係者の意見収集、建設計画への反映
- ・調整会議における合意が得られた後に建設開始

（参考2）水力発電所建設における市町村のメリット

- ・再生可能エネルギーの普及促進
- ・所在市町村交付金（固定資産税相当）収入
- ・行政財産の貸付料収入（市町村資産を利用する場合） 等

【横川発電所の例】



所在地	上伊那郡辰野町
建設着手	平成 29 年度
完成予定	平成 31 年度
事業費	580 百万円
最大電力	199kW
年間発電量	410 世帯分
年間収入	43 百万円

○特徴

- ・既存ダムから河川への維持放流を活用
- ・景観や環境に配慮した設備（外観、油を使用しない機器の導入など）
- ・観光に資する設備を導入（スタンプラリー台、展望デッキなど）【地域要望】



■建設条件への適合状況

1 一定の水量と落差を有している

⇒ 最大出力 199kW $\approx$ 水量 $1.4 \text{ m}^3/\text{s} \times$ 落差 19m $\times$ 重力加速度 (9.8) $\times$ 効率 (0.6)

2 水利権取得の目途が得られる

⇒ ダムから河川への維持放流水を活用（水利権取得が容易）

3 地元関係者の理解を得られる見込みがある

- ・維持放流水の活用により既存利水者（水者業、漁業）に供給する水が無くならず、関係者への影響がない
- ・観光シーズン（もみじ祭り期間中）の工事を制限
- ・固定資産税収入、観光資源として利用、スタンプラリーへの活用など、地域経済活性化に寄与
- ・法規制がない地点。

【連絡先】 長野県庁 企業局 電気事業課

電話:026-235-7375 E-mail:kigyo@pref.nagano.lg.jp

担当:佐藤 英司(課長補佐)、山口 裕暉(技師)

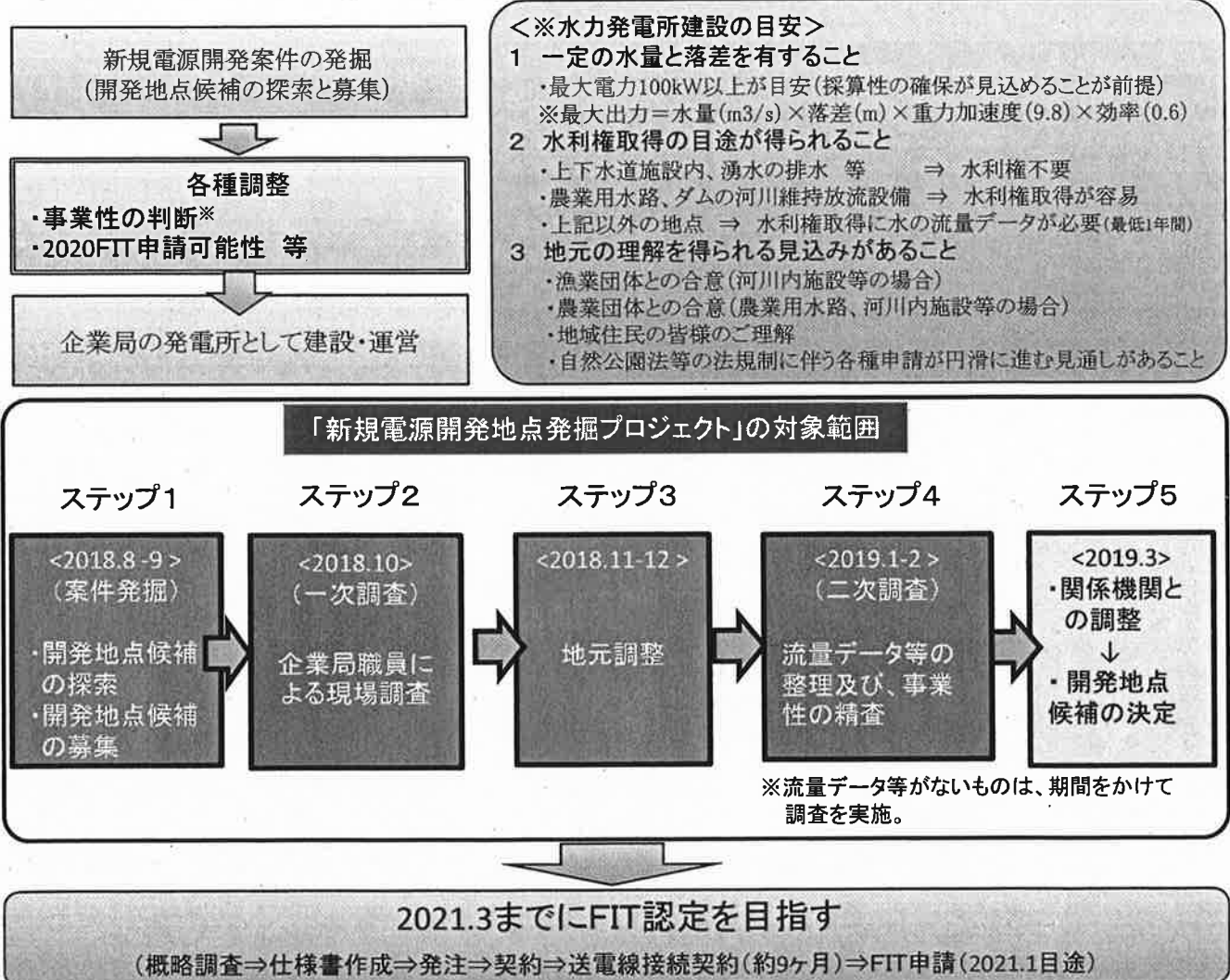
新規電源開発地点発掘プロジェクトについて

企 業 局

1 趣旨

- 再生可能エネルギーの供給拡大を通じて、地域の発展に貢献していくためには、企業局の経営の安定を図りながら、本県の貴重な水資源を最大限活用できる水力発電所の整備を行っていくことが必要。
- 現行の固定価格買取制度(FIT)を活用した新規発電所整備を加速すべく、関係部局横断による推進体制を整備し、地域振興局、市町村等にも地域の状況の把握など御協力をいただきながら、早期に開発可能な候補地点を発掘する。

2 事業概要



3 新規電源開発地点発掘プロジェクト推進会議

- ・議長 企業局経営推進課長
- ・事務局:企業局 電気事業課
※現地事務所(南信発電、北信発電)が参加する新規電源開発地点発掘プロジェクトチームを設置して推進
- ・メンバー:企画振興部 地域振興課、環境部 環境エネルギー課、産業労働部 産業政策課 産業戦略室 農政部 園芸畜産課、農地整備課、林務部 森林づくり推進課、建設部 河川課、砂防課

4 新規電源開発地点発掘プロジェクト推進会議の役割

新規電源開発地点発掘プロジェクトチームに対して、以下について助言及び協力を行う。

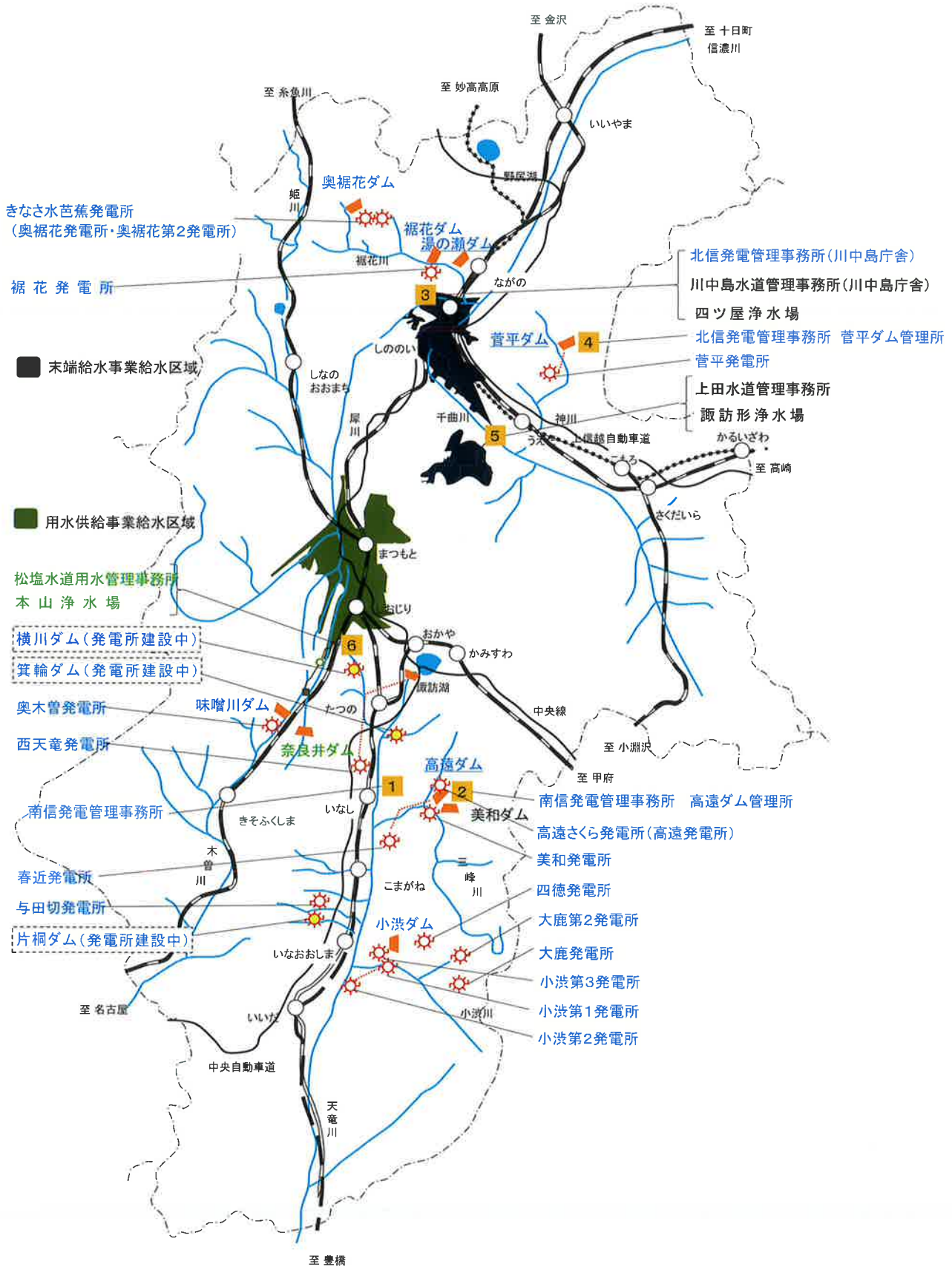
- ・市町村等との調整に関すること
- ・水利権の取得に関すること
- ・法規制等に関すること
- ・発電所の整備に係る地域貢献に関すること

水の恵みを
未来へつなぐ



長野県企業局

長野県企業局事業概況図



皆様の安心と笑顔のために ～水の恵みを未来へつなぐ～



長野県は、県歌制定50周年を迎える「信濃の国」にも歌われているように、山高く、水清き肥沃な地に、十の州からなるそれぞれの地域が、犀川、千曲川、木曽川、天竜川などの水系ごと、豊富な水資源を最大限に利用し、県民の創意と工夫により、それぞれ独自の地域経済、文化を形成して豊かな生活を育んでいます。

長野県企業局は、そもそも、天竜川の三大支流の一つの三峰川における河川総合開発事業の一翼を担い、長野県の電気事業として1958年(昭和33年)に運転開始された美和、春近両発電所を引き継ぎ、1961年(昭和36年)に発足したものです。

以来、この60年の間に最大で7事業(電気、住宅、用地開発、有料道路、観光施設、ガス、水道)を実施するに至りました。

その後、所期の目的を達成した事業を順次終了させ、現在、長野県企業局では電気事業と水道事業の2事業において、長野県の豊かな水資源を活用して県民の皆様のライフラインを支える役割を果たしていますが、今後ともこれらが経営の基盤となるものと考えています。

その一方で、東日本大震災を契機としたエネルギー情勢の変化や、脱炭素社会の構築に向けた再生可能エネルギーの拡大、また、人口減少社会が到来する中で更新期を迎える水道施設の計画的な更新や、大規模地震に備えた水道の安定供給体制の構築など、現代の日本が直面する様々な課題に対しても、長野県企業局としては、正面から取り組まなければなりません。

これらを踏まえ、2016年度からの10年間を計画期間とする「長野県公営企業経営戦略」に基づき、「経営の安定」、「地域への貢献、地域との共存・共栄」、「リスクマネジメント」という3つの視点に立って、経営の安定と発展の礎づくりを着実に進めています。

さらに、本年度からスタートした長野県総合5か年計画「しあわせ信州創造プラン2.0」とも連動して、長野県内では初となる水素ステーションの設置、県管理ダムを活用した新たな発電所の建設、高感度音圧センサーを活用した漏水対策などに着手するとともに、大学生への奨学金支給や県立高等学校のICT化を支援することなどにより、県政への貢献に取り組んでいます。

また、組織の根幹は人であり、職員が生き生きと働くことのできない企業は、公営企業であっても生き残れないものと考え、風通しのよく働きやすい職場づくりや、先端のICTなども活用した働き方改革、ワークライフバランスの推進にも取り組みます。

新たな時代へと情熱をもって果敢に挑戦し続ける職員が支える長野県企業局は、これからも、長野県の豊かな水の恵みを未来へとつなげてまいります。

長野県公営企業管理者

小林 透





三峰川総合開発事業で開田した伊那市六道原の水田

長野県電気事業

長野県電気事業は、昭和33年、治水・かんがい及び発電を目的とした「三峰川総合開発事業」による、美和・春近発電所の建設から始まりました。私たちは「水力発電所の建設と運営」を通して、河川総合開発の一翼を担うとともに、地球にやさしい自然エネルギーの確保に努めてきました。現在、発電所は16箇所、その出力合計は10万498kWに達し、発電した電力は中部電力(株)を通じて県内の一般家庭や工場等に供給され、県民生活に役立てられています。また丸紅新電力(株)を通じて「信州発自然エネルギー」として東京都世田谷区の保育園や大都市の家庭・企業等に供給され、大都市との連携を通じ信州をPRしています。長野県公営企業経営戦略に掲げる「経営の安定」、「地域との共存・共栄」、「リスクマネジメント」の3点を施策の柱に捉え、自然エネルギーの普及・拡大に向けて積極的に取り組んでまいります。

新規発電所の建設

県管理ダムを活用して発電所の建設を進めています。横川ダム地点は2019年度、箕輪・片桐地点は2020年度に完成する予定です。



横川ダム



箕輪ダム



片桐ダム

電気事業利益による地域貢献

売電等により得られた利益の一部について、再生可能エネルギー導入の支援、将来の科学技術を担っていく子供への育成支援等を目的として県民に還元しています。また、新規発電所に係る電気を「信州発自然エネルギー」として大都市に売電し、長野県と都市部の交流と連携を進めています。

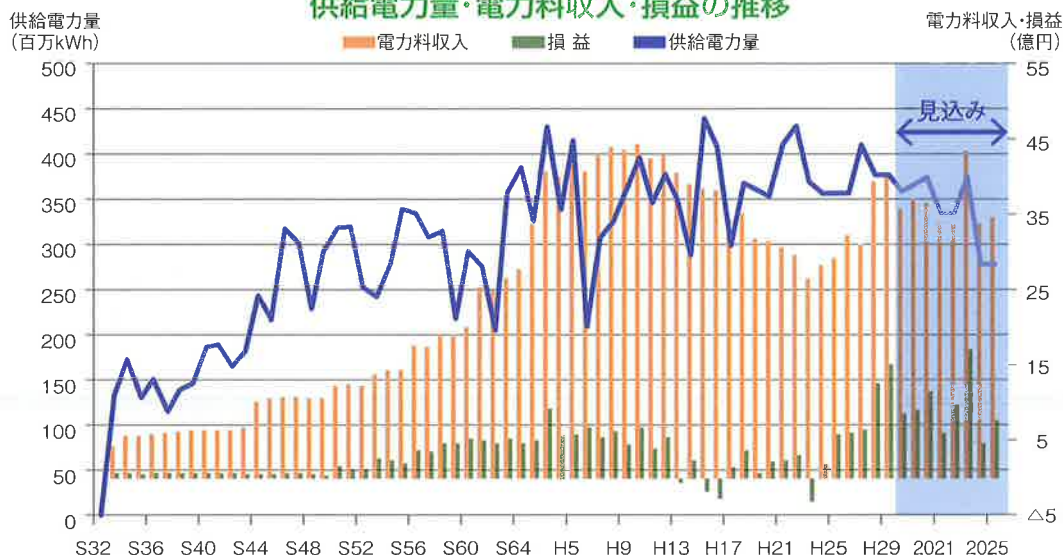
ダムカード

電気事業に親しみを持っていただくため、企業局が管理する3つのダムでは、ダムカードを配布しています。配布場所などは、ホームページでご確認ください。

ダムカード(高遠ダム)▶



供給電力量・電力料収入・損益の推移



供給電力量(H30目標)



最大出力



県営発電所及び関連ダム一覧表

	発電所名	所在地	形式	運転開始	最大出力 (kW)	年間発電 電力量 (千kWh)	最大 使用水量 (m³/s)	最大 有効落差 (m)	水車型式	関連事業
南信発電管理事務所管内	美 和	伊那市 (高遠町)	ダム式	昭33. 2.11	12,200 (2台)	39,670	25.60	58.85	立軸 フランシス	三峰川総合開発事業 (治水・かんがい・発電)
	春 近	伊那市	ダム 水路式	昭33. 7.14	23,600 (2台)	100,043	19.00	151.80	立軸 フランシス	〃
	西天竜	伊那市	水路式	昭36.12. 1	3,600	0※	6.86	65.22	立軸 フランシス	西天竜幹線導水路改修事業 (かんがい・発電)
	四 徳	上伊那郡 中川村	水路式	昭39. 2. 7	1,800	4,202	1.37	165.00	横軸 フランシス	南向土地改良事業 (かんがい・発電)
	小波第1	下伊那郡 松川町	ダム式	昭44. 3. 1	3,000	5,671	8.00	46.10	立軸 カプラン	小波川総合開発事業 (治水・かんがい・発電)
	小波第2	下伊那郡 松川町	ダム 水路式	昭44. 3. 1	6,500	19,352	8.00	99.90	立軸 フランシス	〃
	小波第3	下伊那郡 松川町	ダム式	平12. 4. 1	550	1,859	0.88	83.41	横軸 クロスフロー	小波ダム水環境改善事業
	与田切	上伊那郡 飯島町	水路式	昭61. 4. 1	6,300	21,803	2.40	321.32	横軸 ベルトン	
	大 鹿	下伊那郡 大鹿村	水路式	平 2. 5. 1	10,000	39,792	4.50	266.40	立軸 ベルトン	
	大鹿第2	下伊那郡 大鹿村	水路式	平11. 4. 1	5,000	18,849	1.70	356.22	横軸 ベルトン	
	奥木曽	木曽郡 木祖村	ダム式	平 6. 6. 1	5,050	18,911	4.70	125.12	横軸 フランシス	木曽川水系水資源開発基本計画 (治水・上水道・工業用水・発電)
	(高遠) さくら	伊那市 (高遠町)	ダム式	平29. 4. 1	199	1,249	0.96	23.90	横軸 フランシス	
北信発電管理事務所管内	菅 平	上田市 (真田町)	ダム 水路式	昭43.12. 1	5,400	18,639	2.40	276.05	立軸 フランシス	神川総合開発事業 (かんがい・上水道・発電)
	裾 花	長野市	ダム式	昭44. 5.15	14,600	54,421	18.00	98.35	立軸 フランシス	裾花川総合開発事業 (治水・上水道・発電)
	(きなさ) 水芭蕉	奥裾花 長野市 (鬼無里)	ダム式	昭54. 2. 1	1,700	3,749	4.00	53.68	横軸 フランシス	裾花川上流河川総合開発事業 (治水・上水道・発電)
		奥裾花 第 2 長野市 (鬼無里)	ダム式	平29. 4. 1	999	5,043	2.53	48.17	横軸 フランシス	
計		16発電所			100,498	353,253				

※平成30年7月現在、西天竜発電所は大規模改修工事に伴い運転停止中です。
〔 〕は愛称。奥裾花第2(水芭蕉)は奥裾花(きなさ)に併設のため、総称して(きなさ水芭蕉)と呼びます。

ダム名		所在地	形式	竣工	堤高 (m)	堤頂長 (m)	堤体積 (千m)	総貯水 容量 (千m)	有効貯水 容量 (千m)	用途	管理者	関連事業
南信発電管理事務所管内	高 遠	伊那市 (高遠町)	コンクリート 重力式	昭33	30.9	76.1	21.97	2,310	500	かんがい 発電	長野県 企業局	三峰川総合開発事業 (かんがい・発電)
	美 和	伊那市 (高遠町)	コンクリート 重力式	昭34	69.1	367.5	285.7	37,478	25,544	かんがい 治水・発電	国 土 交通省	三峰川総合開発事業 (治水・かんがい・発電)
	小 波	上伊那郡 中川村	コンクリート アーチ式	昭44	105.0	293.3	268	58,000	37,100	かんがい 治水・発電	国 土 交通省	小波川総合開発事業 (治水・かんがい・発電)
	味噌川	木曽郡 木祖村	中央遮水型 ロックフィル	平 8	140.0	447.0	8,900	61,000	55,000	治水・上水道 工業用水・発電	水資源 機 構	木曽川水系水資源開発基本計画 (治水・上水道・工業用水・発電)
北信発電管理事務所管内	菅 平	上田市 (真田町)	コンクリート 重力式	昭43	41.8	149.7	79	3,451	3,242	かんがい 上水道・発電	長野県 企業局	神川総合開発事業 (かんがい・上水道・発電)
	湯の瀬	長野市	コンクリート 重力式	昭44	18.0	140.0	15	330	290	上水道 発電	長野県 企業局	裾花川総合開発事業 (上水道・発電)
	裾 花	長野市	コンクリート アーチ式	昭45	83.0	211.16	105	15,000	10,000	治水・上水道 発電	長野県 建設部	裾花川総合開発事業 (治水・上水道・発電)
	奥裾花	長野市 (鬼無里)	コンクリート 重力式	昭55	59.0	170.0	152	5,400	3,300	治水・上水道 発電	長野県 建設部	裾花川上流河川総合開発事業 (治水・上水道・発電)

南信発電管理事務所

長野県南部の伊那谷・木曽谷にある12発電所と、高遠ダムを管理しています。12発電所の合計最大出力は77,799kW、年間発電量は2億7千万kWhで、一般家庭の約7万7千世帯分に相当します。発電所はすべて無人で、伊那市にある管理事務所（南信制御所）から運転を行っています。



南信発電管理事務所（南信制御所）

高遠さくら（高遠）発電所

「天下第一」の高遠の桜にちなんで、愛称を「高遠さくら発電所」としました。高遠ダムの維持放流水を活用した発電所で、平成29年4月に本格稼働しました。発電した電気は、東京都世田谷区の保育園などで利用されています。

長野県PRキャラクター「アルクマ」©長野県アルクマ



高遠発電所/高遠ダム



南信制御所 集中監視制御装置

高遠ダム

美和発電所で発電した水を、ここから取水する三峰川左右岸のかんがいと春近発電所で有効に利用するため、一時的に溜めて調整します。



高遠ダム（湖面から）

四徳発電所

小波ダム水没地の移転先農地等のかんがいのため、取水施設をかんがいと発電の共同施設として建設した発電所です。



美和発電所

三峰川総合開発事業（治水・かんがい・発電）の一環として、美和ダムの建設にあわせてダム直下に建設した県営最初の発電所です。発電した水は、高遠ダム（高遠湖）に一旦蓄え、かんがいと発電（春近発電所）に使います。



美和ダム、美和発電所

小波第1発電所

小波川総合開発事業（治水・かんがい・発電）の一環として建設した発電所です。県営では唯一のカプラン水車です。



小波第1発電所、小波ダム

春近発電所

三峰川総合開発事業の一環として建設したもので、最大出力23,600kWは県営最大です。高遠ダムからトンネルで約10.6km導水して、約150mの落差を得て発電します。なお、トンネルの途中でかんがい用水を分水します。



小波第2発電所

小波川総合開発事業の一環として建設したもので、小波第1発電所から約4.4kmをトンネルで導水し、かんがい用水を分水後、発電を行います。



西天竜発電所

西天竜幹線水路の末端に建設され、主に非かんがい期に発電していましたが、かんがい期にも発電ができるように、現在大規模改修（リブレース）中です。西天竜幹線水路は、西天竜土地改良区が所有する25kmの水路で、辰野町から伊那市までの天竜川西岸の台地をかんがいでいます。



小波第3発電所

国土交通省の小波ダムから放流される河川維持流量を有効利用した発電所です。県営では唯一のクロスフロー水車です。



北信発電管理事務所

長野県北部の3発電所と湯の瀬ダム、東部の菅平発電所と菅平ダムを管理しています。4発電所の合計最大出力は22,699kW、年間発電量は8千2百万kWhで、一般家庭の約2万3千世帯分に相当します。発電所はすべて無人で、長野市にある管理事務所（北信制御所）から運転を行っています。



北信発電管理事務所（北信制御所/企業局川中島庁舎）

水芭蕉（奥裾花第2）発電所

清らかな雪解け水の恵みを受けて咲く鬼無里の水芭蕉にちなんで、愛称を「水芭蕉発電所」としました。豊富な雪解け水などを有効に活用するため、奥裾花発電所に併設して建設した発電所で、平成29年4月から本格稼働しました。発電した電気は、東京都世田谷区の保育園、名古屋・大阪の企業などで使われています。



奥裾花ダム、奥裾花・奥裾花第2発電所

きなさ（奥裾花）発電所

裾花川上流総合開発事業（治水・発電・上水道）の一環として奥裾花ダムの直下に建設した発電所です。鬼女伝説の里「鬼無里」にちなんで、愛称を「きなさ発電所」とし、奥裾花第2発電所とあわせ「きなさ水芭蕉発電所」と呼びます。

菅平発電所

菅平ダムから約4.1kmをトンネルで導水し、発電を行っています。また、下流でかんがい用水と上田市の上水道用水が取水されています。



裾花発電所

裾花川総合開発事業（治水・発電・上水道）の一環として裾花ダム直下に建設した地下式発電所です。最大出力は14,600kWで、1台当たりでは県営最大の発電所です。



裾花発電所、裾花ダム

菅平ダム

上田・小県地方のかんがいを主な目的とした神川総合開発事業（かんがい・発電・上水道）の一環として建設しました。全国でも稀な利水専用の多目的ダムです。



湯の瀬ダム

湯の瀬ダムは、裾花発電所の発電放流量の変化を抑え、水を一定にして下流へ流す役割を行っています。なお、湯の瀬ダムからの放流水の一部は、長野市の水道用水として取水されています。



与田切発電所

河川総合開発事業に参画して水力開発をしてきましたが、オイルショックにより、石油代替エネルギーとしての中小水力開発が急務となったため、発電のみを目的として建設した県営最初の発電所です。



大鹿発電所

発電のみを目的とした発電所で、小笠川と小河内沢川から取水して発電します。発電した電気を中部電力（株）に送るため、大鹿村～松川町の間に約17kmの送電線も建設しました。



奥木曽発電所

味噌川ダム（治水、維持流量、都市用水）直下に建設した発電所で、ダムからの利水放流を利用して発電を行います。少ない水も効率よく利用するため、二輪の水車を設置しています。



奥木曽発電所、味噌川ダム

大鹿第2発電所

発電のみを目的とした発電所で、塩川と、溪流（入山沢・舟形沢）から取水して発電します。FRPM管や高さ261mの垂直な地下トンネルを用いた水圧管が特徴です。





長野県水道事業

長野県水道事業は、効率的な経営により安全で低廉な水を安定供給することを目的とした広域的な水道で、上水道事業（末端給水事業）と用水供給事業を営んでいます。末端給水事業は、昭和37年12月に厚生省（現 厚生労働省）の事業認可を得て、上田市にある諏訪形浄水場（水源：千曲川表流水）と、長野市にある四ツ屋浄水場（水源：地下水）で浄水処理した水を千曲川沿岸一帯の3市1町（長野市、上田市、千曲市、坂城町）の約19万人のお客様に給水しています。用水供給事業は、奈良井ダムに水源を求め、ダムの下流約13kmの塩尻市片平で取水し、本山浄水場で処理した水を送水管で松本市、塩尻市、山形村へ供給しています。

長野県水道事業の主な取組

県営水道のおいしい水の供給



「モンドセレクション2018」において、災害備蓄用として製造した「川中島の水（四ツ屋浄水場の水道原水）」が3年連続で最高金賞を受賞しました。

大規模災害に備えて…



災害に強い安定した水道を目指し、平常時はもとより、地震時においても一定の給水を確保するため、重要度の高い施設や管路の耐震化に順次取り組んでいます。

災害時でも水が飲める安心スポット



坂城町文化センター

千曲市白鳥園

災害時に周辺地域が断水になっても「そこに行けば水が飲める」との安心感を地域の皆様に持っていただけるよう、応急給水拠点である「安心の蛇口」を整備しています。

県内市町村の有収率向上支援



データ分析機器

高感度音圧センサー

効率的な調査が可能である漏水調査機器を、漏水対策に苦慮している市町村に貸し出し、県内市町村の有収率向上を支援します。

水道水ができるまで

上田水道管理事務所の主な施設

取水口

千曲川の水をここから取り入れます。
最大取水量: 0.833m³/s



沈砂池

水の中の大きなゴミや砂などを沈めて取り除きます。



沈でん池

水と水の濁りを取り除く薬をよくかき混ぜ、水中の汚れを沈殿させます。



着水井

入ってくる水の量を計測調節し、薬品を入れたりします。



ろ過池

送られてきた水を砂の層に通し、小さなゴミや汚れを取り除き、きれいな水を作ります。



配水池

水を貯めておき、ここから皆さんの家や学校・工場などへ配ります。



川中島水道管理事務所の主な施設

井戸

四ツ屋浄水場では地下水をポンプでくみ上げ水源として利用しています。



紫外線処理設備

塩素減菌されにくいクリプトスポリジウム(原虫)等の汚染に備え設置しています。



送水ポンプ

標高の高いところにある施設へ水を送るため、ポンプで後押しをします。



調整池

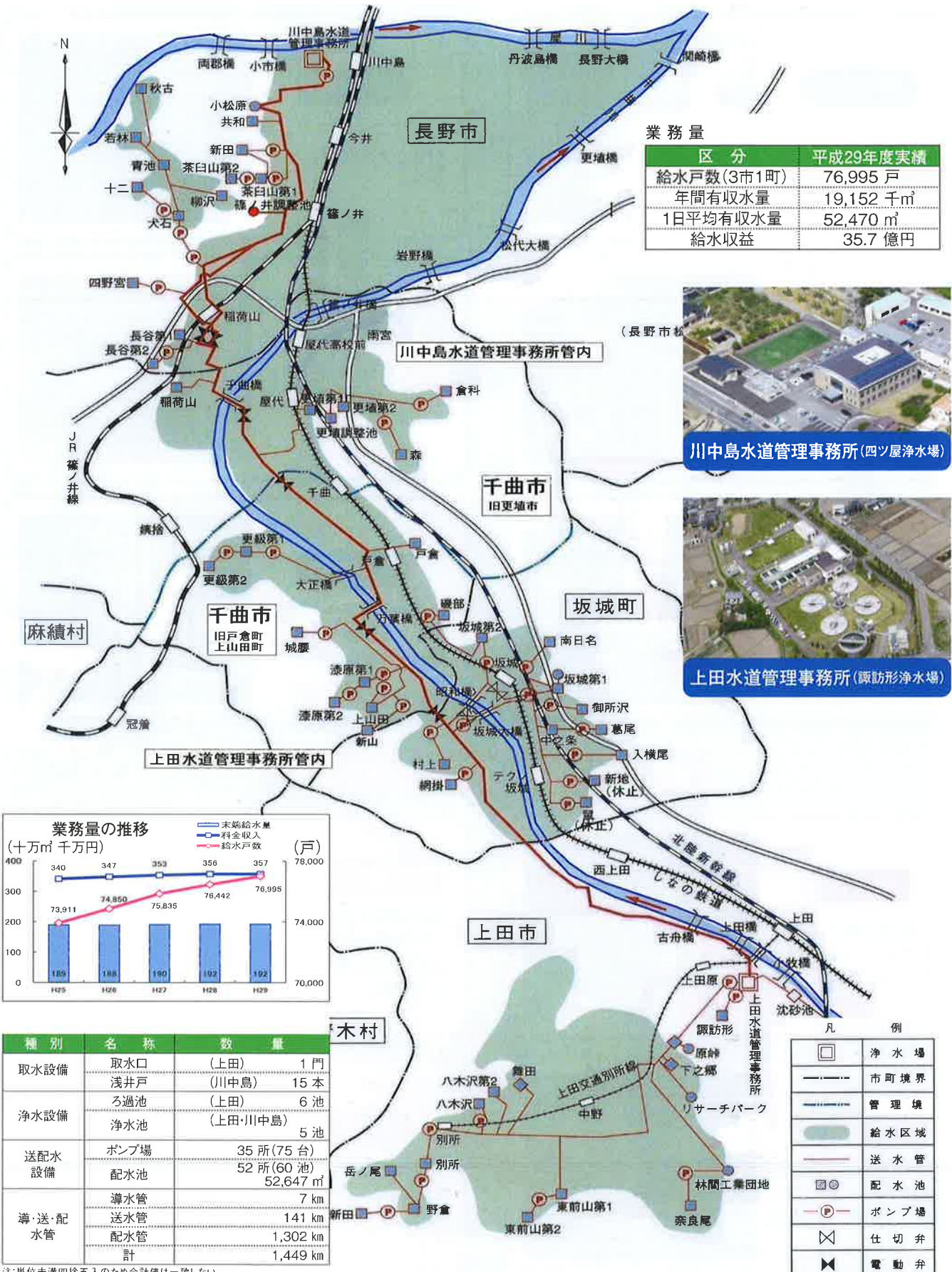
配水池の機能に加え、他の配水池への送水量を調整します。



末端給水事業(上田水道管理事務所・川中島水道管理事務所)

【施設能力】(平成30年3月31日現在)

○ 諏訪形浄水場(上田市) 48,000m³/日 ○ 四ツ屋浄水場(長野市) 52,000m³/日



用水供給事業(松塩水道用水管理事務所)

【施設能力】 (平成30年3月31日現在)

○本山浄水場(塩尻市) 81,000m³/日

○供給先 松本市 63,000m³/日 塩尻市 16,500m³/日 山形村 1,500m³/日

業務量

区 分	平成29年度実績
年間給水量	29,438 千m ³
1日平均給水量	80,652 m ³
用水供給収益	14.1 億円
用水供給単価	47.96 円/m ³

施設の概要

名 称	延長等
導水トンネル	3,307.3 m
導水管	1,856.9 m
送水管	50,638.8 m
ポンプ場	4 箇所

松塩水道用水管理事務所 (本山浄水場)

松本市、塩尻市、
山形村へ供給する
水を作っています。



片平取水場

奈良井川の水を
ここから取り入
れます。

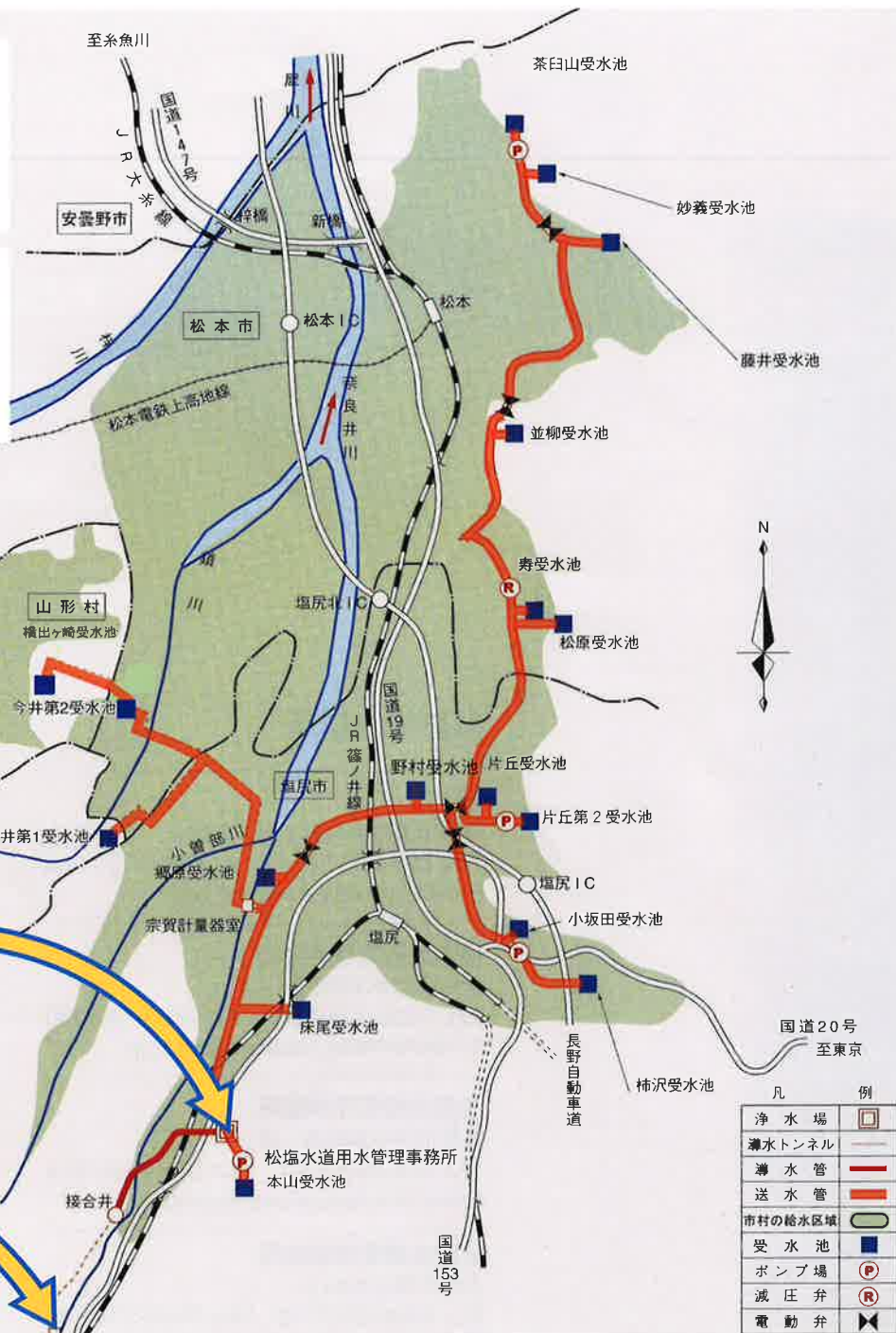


奈良井ダム

水道水の確保
の他、洪水調節、
河川の流量維持
を目的とした多
目的ダムです。



奈良井ダム	
型 式	ロックフィルダム
堤 高	60.0m
総貯水容量	800万 m ³
有効貯水容量	640万 m ³
常時満水位	1,053m



業務量の推移



長野県企業局

本 庁

長野市大字南長野字幅下692-2
TEL 026-235-7371 FAX 026-235-7388
E-mail:kigyo@pref.nagano.lg.jp

南信発電管理事務所

伊那市狐島3802-2
TEL 0265-72-6121 FAX 0265-78-8050
E-mail:nanhatsu@pref.nagano.lg.jp

北信発電管理事務所

長野市川中島町四ツ屋100
TEL 026-283-7041 FAX 026-283-7614
E-mail:hokuhatsu@pref.nagano.lg.jp

上田水道管理事務所

上田市諏訪形613
TEL 0268-22-2110 FAX 0268-22-2994
E-mail:uedasui@pref.nagano.lg.jp

川中島水道管理事務所

長野市川中島町四ツ屋100
TEL 026-284-1700 FAX 026-284-1702
E-mail:kawanakajimasui@pref.nagano.lg.jp

松塩水道用水管理事務所

塩尻市大字宗賀字本山5225-1
TEL 0263-52-3330 FAX 0263-52-3331
E-mail:shoensui@pref.nagano.lg.jp



しあわせ信州

平成 30 年 8 月 21 日

県内市町村（水道事業者）の皆さんへ

『水道事業者なんでも相談窓口』の開設について

○内 容

県内の水道事業及び水道用水供給事業等に従事する職員の皆さんが、実践業務を進める中で直面する「困ったこと」「疑問に思うこと」などに、専門の相談窓口を設置してお答えします。

○対 象

県内の水道事業、水道用水供給事業及び簡易水道事業者

○窓 口

長野県 企業局 水道事業課

直通電話 026（235）7381